

地域包括ケアシステム

○ あんしんケアセンターの機能強化

○あんしんケアセンターの職員の増員

現在のあんしんケアセンターに配置している包括3職種の増員

○あんしんケアセンターの増設

あんしんケアセンターの増設

○在宅医療・在宅介護支援の強化

○地域の医療・介護・福祉資源の把握及び活用

医療・介護・福祉等の地域資源情報を一元化し、関係者間の連携に活用

○地域ケア会議の推進

在宅医療・介護連携に関する会議の開催

○在宅医療・介護連携に関する研修の実施

医療専門職に向けた認知症対応の研修や、連携体制の必要性及び具体的な連携手法等の研修を実施

○24時間365日の在宅医療・介護体制の構築

地域密着型サービスの充実

○介護支援専門員等への支援

医療・介護サービス情報等の提供及び専門研修等の実施

○訪問診療を行う医師の育成

訪問診療をスタートするための講座の開催、訪問診療医との同行研修の実施など。

○クラウド型システムの導入

1人ひとりの患者に対して、医療・介護・福祉関係者が身体状況等をタイムリーに共有できるシステムを導入

○在宅介護者への支援

介護技術講習の実施、家族介護者の相談を専門的に行う機関を設置

○認知症施策の推進

○認知症疾患医療センターの機能強化

相談員を増員し、ケアマネジャーへの専門研修の拡充や初期集中支援チームとの協働を推進

○認知症初期集中支援チームの設置・運営

医師・訪問看護師などによる認知症の早期発見及び介入困難ケース対応等を行うチームを設置

○認知症こども”カ”（ちから）プロジェクトの推進

こどもたちへの「認知症サポーター養成講座」の開催や認知症の方との交流会の実施、こども向け認知症教材の開発

○OMCI(軽度認知障害)の早期発見とケア

軽度認知障害の早期発見簡易ツールの導入と専門職によるサポート体制の構築

○「標準的な認知症ケアパス」の作成・普及

認知症の進行に伴い生じてくる生活機能障害の説明や、段階別の医療・介護サービスなどの情報を一元化して提供

○小規模多機能型居宅介護事業所の整備

認知症の方の居場所づくりの視点から、小規模多機能型居宅介護事業所の在り方について検討

○介護予防・日常生活支援総合事業の推進

○市民に対する啓発活動の実施

生涯現役シニアを増やすため、自立した生活の魅力についての啓発活動を実施

○ケアプランチェック体制の充実

生涯現役シニアを増やすため、自立支援に向けたケアプラン作成体制の構築

○委託型介護予防事業の見直し

「大人が楽しめる」介護予防事業を実施し、外出促進、仲間づくり、地域活動リーダーの出現を促進する。

○生活支援・介護予防の基盤整備におけるコーディネーター及び協議体の設置

インフォーマルサービスの基盤となるコーディネーター等を設置

○介護支援ボランティア制度の充実

ポイント付与などのインセンティブ導入による介護ボランティアの拡充